

(5) 生徒指導体制

①方針

- ア 児童理解に努め一人一人の個性を尊重し、好ましい人間関係を基盤として、目標をもって生活できるように支援、指導に努める。
- イ いじめ、不登校を出さない学校づくりを目指し、教師と児童相互の人間関係を深め、すべての教育活動で自己存在感を高めるように努める。
- ウ 学校の指導方針の理解と協力を求めながら、保護者、地域との情報交換を行い、指導効果を高める。

②具体的な取組内容

- ア 互いの心のふれあいを大切にし、認め合い励まし合う学校づくりに努める。
- イ 学校、学級など自分の活動する場における自己有用感を育てる。
- ウ 互いのよさを認め、誤りや間違いを温かく見守る。
- エ 気持ちのよいあいさつや言葉づかいができるように努める。
- オ 努力が認められ、報いられる環境を整える。
- カ Q-Uテストを実施し、集団の状態、個人の状態、集団と個人の間を把握・評価し、指導に役立てる。
- キ 「学校生活アンケート」「こころのアンケート」と、その結果を活用した教育相談（期間を設定）を実施して、いじめ・悩み等の把握に努める。
- ク 特別活動（児童会）と連携し、年2回「全校児童集会」を実施する。親和的な集団（学級・学年・学校）づくりと「いじめ防止」の具体的な方策を児童主体で考え実践、評価する場に位置付ける。

③児童のいじめ、不登校、非行などに即時、的確に対応する体制

- ・ 児童の行動の変化などからどんな小さなことでも学年で話し合い、校長、教頭に報告して指導を受ける。また、担任としての取組を考え、その都度、生徒指導教育相談部と連絡を密にして順次の対応策を考慮し指導をしていく。その変化をつぶさに見取りながら指導を適切に行っていく。
- ・ いじめ・不登校等の問題が起こった場合は、下の図のように取り組み、複数の関係職員が協同して、問題の解決を図る。

○対応の留意点

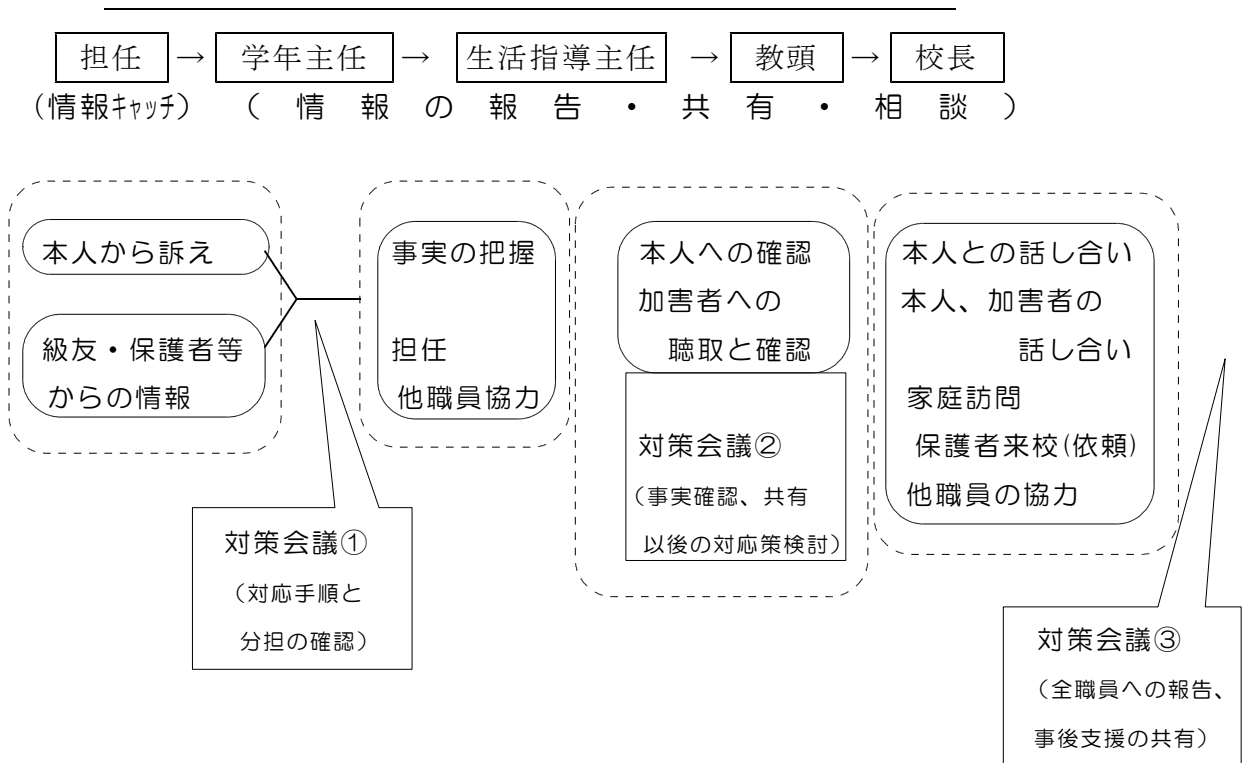
- ア 当該児童の心情の理解を心掛ける。（被害者・加害者児童）
 - ・ 共感的な態度で対応する。
 - ・ 適切な時、場、タイミングをとらえて対応する。
- イ 保護者に対する素早い対応、誠意ある対応を心掛ける。
 - ・ 第1報時からその日のうちに何らかの連絡を行う。
 - ・ 被害者の保護者の不安や不満を謙虚に受け止め、問題を軽視することなく誠意をもって対応に当たる。また、連絡を密に取り合い、信頼の回復に努める。
 - ・ 加害者の保護者の心情を理解することにも努め、協力関係を強化する。また、

加害者の保護者とも機会あるごとに話し合いを十分に行う。

ウ 全校体制で取り組む

- ・ 最初の情報を得た後、すぐに学年主任または生活指導主任に相談し、すぐに管理職に報告する。

< 対応の流れ >



④年間計画

	内 容	
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導全体計画の確認 ・ あいさつ運動 (年間) ・ 生徒指導部会 (月 1 回) ・ 情報交換会 (月 1 回職員会議時) ・ 縦割り班 (異学年集団) によるコスモスタイムの設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践、評価、課題の洗い出し
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校児童集会 (児童会主催) ・ 第 1 回子どもを語る会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年間の方針決めを児童主体で行う。
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ Q-Uテスト ・ 学校生活アンケート ・ 教育相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集計、分析し、必要な支援を行う。
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活目標「温かい言葉遣い」 	
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ Q-Uテスト職員研修 ・ 地域情報の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を共有し支援、指導にあたる。

9月	・あいさつ運動	
10月	・生活目標「あいさつ」 ・Q-Uテスト ・学校生活アンケート ・教育相談 ・第2回子どもを語る会	・集計、分析し、必要な支援を行う。
11月	・生活目標「温かい言葉遣い」 ・京小まつり（児童会主催）	
12月	・全校児童集会（児童会主催） ・Q-Uテスト職員研修	・情報を共有し支援、指導にあたる。
1月	・生活目標「温かい言葉遣い」 ・あいさつ運動	
2月	・第3回子どもを語る会	
3月	・年間の反省・評価と次年度に向けた改善策の決定	